

一 般 質 問 一 覧 表

平成25年第5回高梁市議会（定例）

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	4	16 番 川 上 博 司	<p>1 平成26年度の予算編成について</p> <p>(1) 平成 26 年度の予算編成方針について</p> <p>(2) 消費増税による本市の財政への影響について</p> <p>(3) 国の経済対策に対する本市の取り組みについて</p> <p>2 駅前図書館について</p> <p>(1) 駅前図書館の運営方法について</p>
2	10	4 番 黒 川 康 司	<p>1 高梁中央図書館について</p> <p>(1) 現在の中央図書館を利用している市民はどれくらいいるのか。また、一般市民、小学生、中学生、高校生などの貸出冊数はどれくらいあるのか</p> <p>(2) 高梁駅舎の複合施設として計画されている図書館整備については、現在の中央図書館の老朽化等により整備されると思うが、市として新図書館が市民にとってどのような影響を期待し整備されるのか、基本理念について問う</p> <p>2 成羽病院について</p> <p>(1) 6月定例会の一般質問で、入院、外来患者の方に満足度調査を実施し、病院改革に取り組んでいくと答弁されているが、その満足度調査の結果について問う。また、その結果をどのように生かしていくのか</p> <p>3 子育て支援について</p> <p>(1) 小児科の時間外診療について、市内の病院で診察できる体制を市として考えられないか</p> <p>(2) 高梁市内から産科がなくなると聞いているが、今後どのように考えているのか方向性を問う</p> <p>4 各町内会での防災対策について</p> <p>(1) 先般9月の集中豪雨にも見られるように、最近全国でも異常気象が発生している状況である。市としても防災計画の見直しをされたところであるが、さらに各町内会へ向けても一人暮らしの方などの把握、支援また避難など町内会長を通じての連絡体制を整備することが重要ではないかと思うが、市としてはどう考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	1 2	14 番 川 上 修 一	<p>1 市長 2 期目の公約について</p> <p>(1) 周辺地域に対する政策がいつ見えるのか</p> <p>(2) いつまで原材料支給の地域ボランティアで行政目的を達成しようとしているのか</p> <p>2 県道新見川上線改良について</p> <p>(1) 新見市側の改良はほぼ完了しようとしているが、高梁市側の残り部分について県に対して早急な対応を強く要望することを求める</p> <p>3 湯野地域の防火対策について</p> <p>(1) 水利をどこで確保するのか</p> <p>4 地域振興基金について</p> <p>(1) 原資が切れたとき、今の運用方法では各地区の事業が一気に止まる恐れがあるが、どのように考えているのか</p>
4	1 1	11 番 柳 井 正 昭	<p>1 新図書館について</p> <p>(1) 市民の間でも建設に対する説明不足がささやかれている。また、先日のワークショップでも誤解や混乱を招いたと聞いている。建設位置、図書館機能について、はっきりと市民にわかりやすく説明すべきではないか</p> <p>(2) 建設場所については、市民は用地の広い場所でゆったりとした図書館を希望されているのではないか</p> <p>2 西部土木事務所について</p> <p>(1) 本年は災害が多く発生したが、地域局には担当課がなく不便を感じた市民もいる。産業経済部としては西部土木事務所について検証されているのか</p> <p>3 成羽高校跡地の利用について</p> <p>(1) 9 月議会で成羽高校跡地の購入予算を可決したが、その後の経過と具体的な利用計画を問う</p>
5	1 4	9 番 大 森 一 生	<p>1 高梁市における政策立案から政策決定プロセスについて</p> <p>(1) 高梁市が抱える問題や課題に対して、市民の声をどう政策に反映させているのか</p> <p>2 高梁駅周辺整備と都市計画について</p> <p>(1) 高梁駅周辺整備とその東西の交通の利便性と都市計画について</p> <p>(2) まちなか居住とコンパクトシティについて</p> <p>3 歴史まちづくり法と景観条例策定について</p> <p>(1) 現在の状況と課題について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	14	9番 大 森 一 生	<p>4 高梁市のブランディング戦略の方向性について</p> <p>(1) 高梁市の認知度の向上と東京事務所を開設すべきではないか</p> <p>(2) 本市のオープンデータへの取り組みについて</p> <p>5 バイオマス資源による循環型社会の構築とカスケード利用について</p> <p>(1) 現在の取り組み状況と課題について</p>
6	15	19番 難 波 英 夫	<p>1 市長の政治姿勢を問う</p> <p>(1) TPP参加は、市民の生活と日本経済、地域経済に重大な打撃を与え衰退させることは必至だ。交渉から撤退するよう国に要請するべきではないか</p> <p>(2) 国に対して、即時原発ゼロの決断と再稼働しないよう求めるとともに、市として再生可能エネルギー、自然エネルギー活用の先進的まちづくりの計画策定が必要ではないか</p> <p>(3) 各種の施策決定にあたっては、計画段階から市民、議会、職員、専門家などの声を十分聞き、民主的プロセスを大切にされたい</p> <p>(4) 特定秘密保護法制定に反対の意思を表明され、国へ働きかけること</p> <p>2 政府の打ち出した農地中間管理機構法案について</p> <p>(1) 農地、農業、農村に企業論理を持ち込み、農村の崩壊を進めると思慮するが、市の対応施策を問う</p> <p>3 水田の戸別所得補償制度の見直しについて</p> <p>(1) 補助金削減は農家経営に減収となる。市の対応を問う</p> <p>4 有害鳥獣被害防止対策の強化を求める</p> <p>(1) 有害鳥獣駆除奨励金の大幅な引き上げを求める。特にイノシシについては1頭1万円とすること</p> <p>(2) サルの威嚇出動は全市規模で行うこと</p> <p>(3) 狩猟免許取得補助金の増額でハンターの育成を図ること</p> <p>(4) 野猪等防護柵設置補助金の交付単位を10メートル以上、1メートル単位にすること</p>
7	6	8番 森 田 仲 一	<p>1 耕作放棄地対策について</p> <p>(1) 農業を基幹産業として位置づけている高梁市においては、近年耕作放棄地の増加が目立ってきている。農業従事者の高齢化、米を始めとする農産物価格の低迷、有害鳥獣の増加等により農家の耕作意欲低下が顕著である。耕作放棄地の実態を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	6	8 番 森 田 仲 一	<p>(2) 高梁市も耕作放棄地対策として、国県事業も含め補助事業を進めているが、その取り組み状況はどうか</p> <p>(3) 高梁市の農家で、大半を占める小規模高齢農家に対する耕作意欲高揚に向けた対策を早急に講ずるべきと考えるがどうか</p> <p>2 有害鳥獣対策について</p> <p>(1) 有害鳥獣による農作物被害が耕作放棄地の大きな増加原因となっていると考える。農地、農作物を守る防護柵設置補助の推移並びに有害鳥獣の駆除及び捕獲柵設置により捕獲された有害鳥獣の実態を問う</p> <p>(2) 国においても、鳥獣による農作物被害増大を農業存続危機と捉え、平成 25 年度から鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業として基金を造成し、緊急捕獲活動を実施する市町村に対し特別交付税措置で支援するとしている。交付条件としては、自治体が鳥獣被害対策実施隊を設置することとなっているが、実施隊の設置についての考え方を問う</p> <p>3 県有財産及び市有観光施設の修繕について</p> <p>(1) 岡山県から使用貸借契約により借り受けている成羽町中野にある広兼邸について、居宅及び倉庫などの老朽化が進んでいる。早急に雨漏り等の修繕が必要と考えるが、県との契約内容はどうなっているのか</p> <p>(2) 観光協会吹屋支部に指定管理されている高梁市が所有する各施設の老朽化、特に雨漏り等による建物躯体の修繕については、大規模修繕になる前に所有者である市が行うべきではないのか</p>
8	8	10 番 長 江 和 幸	<p>1 全国学力テストの公表について</p> <p>(1) 教育県岡山の復活、教育再生を重点目標に掲げている県知事は、文部科学省の実施している全国学力テストを平成 26 年度から市町村別、学校別ともに成績を公表するのが望ましいと発言されているが、教育委員会の考えを問う</p> <p>2 高梁学習サポート教室について</p> <p>(1) 元学校長、元教諭や大学生が中心になり、第 2、第 4 土曜日の午前中を基本に、本年 6 月 15 日から実施されているが、参加者より講師の先生方が多い日がある。教育委員会として把握されていると思うが、対策としての考えを問う。また、市長、教育長が講師になるとさらに盛り上がると思うが考えを問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	8	10 番 長 江 和 幸	<p>3 土曜日授業について</p> <p>(1) 新見市は、平成 26 年度から先行自治体の例を参考に土曜日授業の試行を実施する方向で検討すると前向きな考えをもっているが、教育委員会の考えを問う</p> <p>4 ケーブルテレビでの小・中学生を対象とした講座について</p> <p>(1) 本市もケーブルテレビの加入率が高いと思う。学習サポート教室に通いたくても時間的、距離的、交通手段などの条件により学習機会を失っている子どもたちへ、ケーブルテレビを利用して学習機会を提供してはと思うが、教育委員会の前向きな考えを問う</p> <p>5 心理テスト導入について</p> <p>(1) 中学生の子ども議会で、いじめ問題が質問され心理テストを平成 26 年度から導入すると答弁されているが、不登校に対応しいじめを解決する努力をするのは教員であると思うが、今日の学校現場で教員が十二分に対応できる時間があるか。また、教員の増が必要になると思うが、その点と合わせて問う</p> <p>6 教員の研修会（研究会）について</p> <p>(1) 福地小学校での理科の研修会の教員の参加が少ないように思うが、研修会はどのような方法で募集されたのか問う</p> <p>7 音響設備の充実について</p> <p>(1) 富家小学校の学習発表会を観覧したが、音響が悪くて声を聞きとれない状態であった。設備の充実を図るべきと思うが、教育委員会の考えを問う</p>
9	3	15 番 宮 田 公 人	<p>1 幼稚園給食の 5 日制実施について</p> <p>(1) 幼稚園給食の試行後 2 年が経過したが、実施園での状況や課題はどうなっているのか</p> <p>(2) 試行園においては、週 3 回の給食日を週 5 回に拡充すべきではないか</p> <p>(3) 公平性の観点からも、全市において幼稚園の給食サービスを実施すべきではないか</p> <p>2 セニアカーのバッテリー交換補助金創設について</p> <p>(1) 高齢者の移動手段の確保のためにセニアカーの購入補助制度が創設されているが、利用状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 利用促進のための市民に対する広報は十分に行われているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	3	15 番 宮 田 公 人	<p>(3) セニアカーのバッテリー交換費用は高額であるが、この補助制度を拡充する意味でバッテリー交換費用の一部を1回に限り補助してはどうか</p> <p>3 高梁中央図書館建設のあり方について</p> <p>(1) にぎわいとは何か。基本的な考え方を確認する</p> <p>(2) 中央図書館を建設するにあたって、明治飼糧跡地 (3,334 m²) という広い敷地があるにもかかわらず、なぜ面積が半分の高梁バスセンター敷地 (1,650 m²) に建設しようとするのか</p> <p>(3) 駐車場、移動図書館の拡充や中央図書館としての基本的機能を備えるためには、物理的に見て駅前への立地は難しいと考える。それでも建設するというのならば、イメージでなく明快な絵姿を示すべきではないか</p> <p>(4) 議会では図書館建設にかかる予算を市長の考え直すという言葉をもって可決しており、駅前ににぎわい施設を建設するという合意形成は未だなされていない。そうした状況下で、ワークショップを開催することは、かえって誤解や混乱を招く原因であり、行政手続きとしても大きな問題ではないか</p> <p>(5) 中央図書館の建設については、再度、原点に立ち返り計画を練り直す必要があると考えるがどうか</p> <p>4 市長マニフェストについて</p> <p>(1) むるま湯論は未だ健在なのか</p>
10	2	5 番 三 村 靖 行	<p>1 簡易水道の基本料金減免について</p> <p>(1) 小規模の集会所に対して基本料金の減免をすべきではないか</p> <p>2 土砂災害防止対策について</p> <p>(1) 急峻な地形の自然災害に備えるため、安全対策を実施すべきではないか</p> <p>3 「ゆ・ら・ら」跡地の活用について</p> <p>(1) なでしこリーグ INAC 神戸の運営企業から活用の提案があったと聞いているが、その内容を問う</p> <p>(2) 提案に対して具体的な整備計画はあるのか。また、整備事業費の財源はどのように考えているのか</p> <p>(3) 施設運営はどのように考えているのか</p> <p>4 サッカースタジアム建設について</p> <p>(1) なでしこリーグの試合が誘致できるスタジアムの建設をどう考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 1	7	7 番 宮 田 好 夫	<p>1 備中高梁駅及び駅周辺整備について</p> <p>(1) 備中高梁駅の西側と東側は、どのような考え方で開発していこうとしているのか</p> <p>2 図書館について</p> <p>(1) 図書館については市のコンセプトが弱い。他の自治体でも駅周辺に図書館を設置しているところもある。当然市は参考にしながら検討してきたと思うが、なぜバスセンターの位置に図書館を設置するのか。また、どのような波及効果を期待しているのか</p> <p>(2) 図書館長は現在兼務となっているが、今後のことも考えれば専任の館長を置くべきではないか</p> <p>(3) 図書館運営の詳細な内容については、これから検討が進められていくと思うが、図書館運営の経験のある外部人材などを登用して議論すべきだと思うが市の考えはどうか</p> <p>3 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 市長は、できれば12月までには利活用について方向性を出したいと言われたがどうなっているのか</p>
1 2	9	6 番 内 田 大 治	<p>1 本市の農業政策について</p> <p>(1) 本市は農業を基幹産業と位置づけている。本市における農業の現状をどのように認識して農業施策を進めているのか</p> <p>(2) 本市の農業は主要作物としてコメ、そして果樹、畜産などと複合経営である。今、コメ政策を大転換されようとしている生産調整（減反）を廃止して、農家の自立、農業強化策が進められることについて、どのように認識しているのか</p> <p>(3) 中山間地域である本市の農業は、後継者不足と所得の減少により急速に離農が増すと思われる。このことは、周辺地域の崩壊につながるのではないかと不安が広がっている。市としては、どのような認識をしているのか。また、どのような対策をしていくのか</p> <p>(4) 周辺地域は農業従事者が多く、農業が崩壊すれば生活基盤が崩壊し、集落機能も崩壊する。このような現状に今後どのような対策をとっていくのか</p>
1 3	1 3	2 番 石 部 誠	<p>1 新年度予算編成へ向けた市長の政治姿勢を問う</p> <p>(1) 予算編成にあたっては、憲法、地方自治体の精神に沿って市民の暮らし、福祉、経営を守る立場こそ必要ではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	13	2番 石 部 誠	<p>(2) 国に対し、地方交付税を含む地方一般財源の削減反対、拡充を求める強い意思で臨み、特に交付税を国の政策誘導の手段とする動きに反対することが重要ではないか</p> <p>(3) 生活保護基準を元に戻すよう国へ働きかけるとともに、引き下げが他の制度に連動、影響しないよう、市の条例、規則、要綱の改正と予算措置を求める</p> <p>(4) 各地域局、地域市民センターに、市民が願う予算確保と正規職員を配置して、機能の充実を図るよう予算措置をさねたい</p> <p>(5) 平成26年4月からの消費税引き上げと社会保障改悪がなされると市民の暮らしを直撃することになる。国への要請と市の対応策を問う</p> <p>2 学童保育の充実について</p> <p>(1) 学童保育が、自治体が行う「地域子ども・子育て支援事業」として位置づけられたことに対する市の対応策を示されたい</p> <p>(2) 富家をはじめ、全ての地域の学童保育は、専用の施設で行う必要がある</p> <p>(3) 待機児童の状況を問う。施設増設、指導員増員の対応を求める</p> <p>3 図書館建設計画について</p> <p>(1) 現在建設しようとしている図書館は、高梁中央図書館という位置づけでよいか</p> <p>(2) 中央書館として、どのような機能を持たせようとしているのか</p> <p>(3) 今まで開かれたワークショップにおいてバスセンターの位置が前提で進められていたが、その場所に決定しているのかどうか</p> <p>(4) 建設場所として、バスセンターの位置では解決できない重要な課題、問題点があり、改めて市民、議会、職員、専門家などの声、意見を聞き、熟慮、再検討して市民合意の上で進めるよう求める</p> <p>4 備中高梁駅バリアフリー化と西側交通広場整備について</p> <p>(1) 駅バリアフリー化計画では、1番ホームの利用者も一旦2階へ上がり改札を通ったあと、1階ホームに降りて乗車することになり、バリアフリー化と利便性に逆行するのでJRとの協議を求める</p> <p>(2) 駅前の3店舗との協議はどこまで進んでいるのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	13	2番 石部 誠	<p>(3) 西側交通広場整備は、都市計画決定との関わりや今後の東側整備との機能分担、JRとの適切な事業費負担割合など検討を要する課題が多くあり、慎重な研究と再検討をして市民合意のもとに行なうよう求める</p> <p>5 ききょう緑地の駐車場の確保について</p> <p>(1) プールの改築に伴う当面の駐車場確保はどうなるのか</p> <p>(2) 中、長期的な計画を問う</p> <p>(3) 観光バスの駐車場確保の方策を問う</p>
14	5	1番 石井 聡 美	<p>1 駅前周辺整備計画について</p> <p>(1) 2カ所の候補地で検討するという話が、現状では駅前だけに絞られている。すでに明治飼糧跡地については候補から外れたのかを問う</p> <p>(2) 複合施設には書庫をつくれませんが、別に中央図書館的な機能をもった施設を建設する計画があるのか</p> <p>2 将来の財政予測について</p> <p>(1) 新総合計画の平成31年度目標人口は33,000人で、財政予測もこの数字をもとに立てられている。しかし、現状で既に人口は33,000人であり、今年度についても大学生が入学してくる4月以外すべて前月比はマイナスとなっている。この目標人数に基づく財政予測は正しい数字と言えるのか。将来に過剰な負担を残すことにならないか見解を問う</p> <p>3 備中松山城の観光について</p> <p>(1) 展望台前の林が整備されて、写真を撮りに来る観光客が増加している。インバウンドマーケティング（発見されるマーケティング）の素材として、より魅力を増すためにも、臥牛山側の木も伐採して城を見やすくすべきではないか</p> <p>(2) 展望台付近にゴミ箱、トイレがないので、有料のバイオトイレを設置してはどうか</p> <p>(3) 展望台のところにあるサルに関する注意書きが簡素で、サルを動物園でしかみたことがないような人には不十分ではないか</p> <p>4 公共施設の有効利用について</p> <p>(1) 吹屋の国際交流ヴィラをゲストハウスとして再活用してはどうか</p> <p>5 都市ビジョン（地域編）について</p> <p>(1) 高齢化、後継者不足など地域の問題点への対策よりも地域振興策が中心になっているが、そこに住んでいる人たちの生活の質に対する視点が欠けていないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
14	5	1 番 石 井 聡 美	(2) 地域振興、地域活性化について、改めて定義を問う (3) 各地域の振興策について、具体的なアイデアを問う
15	1	12 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 高梁市定住促進住宅建築費等助成金について (1) 市内業者の施工に限定されているが、市外の業者も助成対象にしてよいのではないか</p> <p>2 観光政策について (1) 備中松山城の景観について、お城が十分見えないが現状のまままでよいのか</p> <p>3 市内の農福商連携事業について (1) 現在市内で民間において事業所の設置が検討されているが、市は支援を考えているのか</p> <p>4 住宅リフォーム事業費補助金について (1) 住宅リフォーム事業費補助金は9月定例会で補正予算を可決したが、1カ月ほどでなくなったと聞いている。特定の業者が一度に数カ所分をまとめて出すと予算がなくなってしまう。本来の目的と違ってきているのではないか</p>